令和8年度にいただいたご意見・回答

日付	分野	移住定住
10月21日	ご意見	今、NHKの朝の番組朝イチ見ています(10月21日) 農耕放棄地に15帖程の戸建ての家と農地を南アルプス市が貸し出しをし、最高五年間貸し出すそうです 入居に年に41万円と月に3万円位を払ってもらいます。希望者が多く、フルに入居があるそうです。 利用者は週末に来ては野菜を育て、他の利用者と仲良くなったり地域の住民とも上手くやっているそうです。農業は地元の人に指導してもらって交流も生まれるそうです。移住する第一歩や、お試しに良いそうです 高山もぜひやってもらいたいです 二拠点生活 「クラインカルテン」と言うもののだそうです 岐阜県にはまだ無いようです 長野県、山梨県に多いようです。
	回答	日頃より、高山市政に理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。 また、このたびはNHKの番組をご覧になり、本市の二拠点生活や移住・農地利活用に関する貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございます。 ご意見にありました南アルプス市の取り組みのように、高山市内におきましても、同様の滞在型市民農園として清見町夏厩(なつまや)に「彦谷の里(ひこだにのさと)を平成16年に整備し、現在は市の指定管理施設として運営されています。 彦谷の里HP　https://www.hikodani.net/ 本施設は、里山の自然に囲まれた環境の中で、宿泊可能な施設と家庭菜園がセットになった区画(全20区画)を1年単位(最長5年)で貸し出している施設です。 地元住民で組織された管理組合による農作業の指導や、地域行事・里山イベントを通じた利用者と地元住民の交流も行われており、都市部から週末や長期休暇を利用して滞在される方々の「お試し田舎暮らし」や二拠点生活の拠点として活用されております。 今回、「岐阜県にはまだ無いようだ」とのお言葉をいただき、市内にこうした素晴らしい施設が存在していることの周知や情報発信が、市内外の皆さまへまだ十分に行き届いていなかったことを実感しております。 いただいたご意見を真摯に受け止め、今後とも「彦谷の里」をはじめとする本市の自然や農林業を生かしたライフスタイル体験の魅力を、市内外に向けてより一層わかりやすく発信してまいります。 あわせて、関係部署や地域と連携しながら、二拠点生活や移住・定住の促進、農地の有効活用に向けた取り組みを進めてまいります。